

〒960-8530 福島市八島町7番7号

TEL (024) 534-6101(代表)

発行：福島赤十字病院 R7.5.23



病院ホームページ



Facebook



リウマチ・膠原病内科 松本医師(左)と二武医師(右)

【特集1】 診療科クローズアップ リウマチ・膠原病内科

【特集2】 健診コースとオプション検査のご案内

Vol.63

基本理念：「わたしたちは、いのちと健康、尊厳を守るため、より良い医療を目指します」

基本方針：「患者さん中心の医療」「良質な医療の提供」「地域医療機関との連携」「救急医療の充実」
「災害時の救護活動」「原子力災害対応機能の充実」「健全な経営の維持」



リウマチ・膠原病内科



松本 聖生



二武 弘樹

～「自己炎症性疾患」という病気について～

リウマチ・膠原病内科について

今回はリウマチ・膠原病内科をご紹介します。当科の病気は“よく分からない”、“難しい病気”といった印象を持たれている方が多いと思います。たしかに当科で扱う病気は基本的に“完治”はせず、難病と呼ばれる病気が多いです。しかし、現在では治療薬の飛躍的進歩により、病気の症状がほぼない寛解状態を長期間維持することが可能な時代となっております。当科で扱う病気は、自分の免疫（細菌やウイルスといった外敵に対する体の防御機能）が自分を攻撃してしまう病気や、炎症のコントロールがつかなくなる病気が多く含まれます。

自己炎症性疾患とは？

その中でも今回は、自己炎症性疾患というものについてお話しします。自己炎症性疾患は非常に珍しい病気ですが、遺伝的異常により自己免疫を介さない炎症を引き起こし、繰り返す発熱を特徴とする病気の一つです。発熱は一般的に、感染症や悪性腫瘍など多くの病気による一症状とされます。自己炎症性疾患による発熱は様々な検査で原因が分からない、いわゆる不明熱とされている場合があります。そして、この自己炎症性疾患は、前述した通り遺伝的異常により発症することが知られており、「遺伝性自己炎症性疾患」という概念が確立されています。近年では原因遺伝子の発見、発症メカニズムの解明が飛躍的に進み、新規治療薬の開発も進んでいます。

発熱の期間や頻度は病気により異なりますが、遺伝性自己炎症性疾患の代表例でもある家族性地中海熱では、典型例で1日から3日程度の発熱が月1回程度みられます。しかし、日本人の場合には典型例よりも発熱の期間が長かったり頻度が多かったりと典型的ではない点（非典型例といいます）が多いことから、診断に至るまでに時間がかかる傾向があります。発熱に加えて皮疹、関節痛、腹痛など多彩な症状が出現する場合もあり、疾患ごとに特徴があります。また、“遺伝性”とはいいますが血縁者の方に同様の症状がない場合もあるので注意が必要です。

診断・検査について

診断には臨床症状と併せて遺伝子検査が有用とされています。今までこのような遺伝性自己炎症性疾患の遺伝子検査は研究室レベルで行われていましたが、現在では日本免疫不全・自己炎症学会（JSIAD）連携施設から、かずさDNA研究所への遺伝子検査依頼が可能となっており、保険収載もされています。当院での検査はできませんが、JSIAD連携施設である福島県立医科大学附属病院リウマチ膠原病内科へ当科から紹介させていただくことで、検査が可能です。

*千葉県木更津市に位置するDNA専門研究機関。DNA構造の解析や、医療を始めとする様々な分野への応用研究などを行っています。

当科の体制について

さて、当科の体制についてご紹介します。常勤医2名と専門性の高い看護師、臨床検査技師、医師事務作業補助者により診療を行っています。また、今年度から福島県立医科大学より週2回外来診療応援に来ていただいております。今まで以上に大学病院との連携が深まり、より複雑で重症度の高い患者さんの対応を目指してまいります。頻度としては非常に稀ですが、今回紹介したような珍しい病気も存在します。原因不明の発熱が周期的にみられ、何年も診断がついていない方がいましたら、ぜひ当科での診察をご検討ください。



リウマチ・膠原病内科スタッフ集合写真

施設認定

- 日本リウマチ学会認定教育施設
- 日本内科学会認定教育関連施設

令和7年度を迎えて

院長 鈴木 恭一



令和7年度の始まりにあたり、地域の皆さまにご挨拶申し上げます。

当院はこれまで、「患者さん中心の医療」「良質な医療の提供」「地域医療機関との連携」「救急医療の充実」などを基本方針として掲げてきました。地域医療に貢献することは、当院の職員にとってやり甲斐であり誇りでもあります。理念と基本方針をこれまで通り堅持していきますので、今年度もよろしくお願い申し上げます。

「患者さん中心の医療」に関しては、現在「入退院支援センター」の充実に取り組んでいます。看護師・薬剤師・栄養士・医療ソーシャルワーカーなどの多職種が協働することで、患者さん中心の医療をより強化してまいります。また、手術や検査を含めた入院中のご案内を、よりわかりやすく正確に理解していただけるよう取り組んでいます。

「良質な医療の提供」に関しては、最新の医療を提供することに加えて、重症化予防のための多職種によるチーム医療に取り組んでいます。栄養管理・口腔管理チームが嚥下機能や口腔衛生を改善し、誤嚥性肺炎の予防に努めています。栄養サポートチーム活動やリハビリテーションを手術後早期から開始する取り組みは、治癒を早めるとともに退院後早期の日常生活復帰に貢献しています。最近では複数の疾患を併せもった重症患者さんが増えています。そうした患者さんに対応するため、本年5月からハイケアユニットを現在の8床から12床に増床します。また、当院には歯科が設置されていませんが、今年度より福島市歯科医師会との連携基盤を構築することで、近隣の歯科医院やクリニックとの連携強化を図ってまいります。こうした取り組みは、当院のさらなる医療の質の向上に寄与するものと考えています。

「地域医療機関との連携」に関しては、ありがたいことに地域のクリニックからのご紹介が最近増えてきています。昨年の調査で、当院を受診した患者さんに「どうしてこの病院を選びましたか？」と質問すると、「かかりつけの先生から赤十字病院に行くように言われたから」という回答を最も多くいただきました。クリニックとの絆がなければ病院は実力を発揮することが叶いません。クリニックからご紹介いただいた患者さんに良質な医療を提供し、病状が安定した後はご紹介いただいたクリニックへの逆紹介を進めさせていただきまます。また、回復期リハビリテーション病院や慢性期病院への逆紹介、介護施設との連携も積極的に行ってまいります。

「救急医療の充実」に関しては、当院へ搬送される救急患者数が年々急速に増加しています。5年ほど前までは年間2,000台後半であった救急車の搬送件数が、昨年度は4,000件を超えました。高齢化に伴い複数の既往歴を抱えた患者割合が増えていることにも併せて対応するため、複数の診療科が協力して診療にあたります。

今後も地域の皆さまから信頼され愛される病院となるよう努めてまいります。今年度もよろしくお願いいたします。

外科



部長
なかじま たかひろ
中島 隆宏

出身大学
島根大学
平成18年卒

専門とするもの
消化器外科

認定医・専門医

日本外科学会 外科専門医・指導医
日本消化器外科学会 消化器外科専門医
日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医
日本内視鏡外科学会 技術認定医(胃)
日本消化器病学会 消化器病専門医
日本消化管学会 胃腸科専門医
日本外科感染症学会
外科周術期感染管理認定医・教育医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会
ストーマ認定士
マンモグラフィ読影認定医師
乳がん検診超音波検査実施・判定医師
インフェクションコントロールドクター

メッセージ

2025年4月より福島赤十字病院外科に配属勤務となりました。外科領域に限らず消化器疾患全般の良性疾患、悪性疾患、救急疾患を診療します。患者さんご本人、御家族へできるだけわかりやすい説明を心がけます。罹患されている病気の病態を理解していただき、いくつかの治療方針のなかから最善と思われる治療を提供します。
ご本人、御家族とも納得できる診療を目指してまいります。

新任医師紹介



副部長
いちむら しょうへい
市村 祥平

出身大学
福島県立医科大学
平成27年卒

専門とするもの
循環器一般・心不全

認定医・専門医

日本内科学会 内科認定医
日本循環器学会 循環器専門医
日本心血管インターベンション治療学会
心血管インターベンション治療認定医
心不全緩和ケアトレーニングコース修了
臨床研修指導医

メッセージ

このたび赴任いたしました市村と申します。何かお困りのこと、分からないことなどあれば、気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

循環器内科

腎臓内科



副部長
ふじわら こと
藤原もも子

出身大学
福島県立医科大学
平成28年卒

専門とするもの
腎臓内科・透析

認定医・専門医
日本内科学会 内科専門医
日本透析医学会 透析専門医

メッセージ
患者さんに寄り添った診療を心がけて
おります。
腎臓に関しては、福島医大など他院と
連携を図りながら最適な治療ができるよ
う精一杯治療させていただきます。
よろしく願い致します。

消化器内科



かめおか えいすけ
亀岡 英介

出身大学
福島県立医科大学
平成30年卒

専門とするもの
消化器全般

認定医・専門医
日本内科学会 内科専門医
日本消化器病学会 消化器病専門医
日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医

メッセージ
患者さんによりそった医療を心がけ、
福島の医療のお力になればと思います。

外科



すがわら りょうた
菅原 良太

出身大学
福島県立医科大学
平成31年卒

専門とするもの
消化器外科

認定医・専門医
日本外科学会 外科専門医

メッセージ
消化器外科を専門としております。地
域の皆様のために安全、安心な医療を提
供できるように頑張ります。
よろしく願い申し上げます。

外科



すえなが かなこ
末永佳奈子

出身大学
福島県立医科大学
令和4年卒

専門とするもの
外科

メッセージ
福島県で生まれ、福島県で育ちまし
た。
少しでも福島県の医療に貢献し、みな
さんにより良い医療を提供できるよう精
進してまいります。

泌尿器科



さこ けいいち
迫 慶一

出身大学
福島県立医科大学
令和4年卒

専門とするもの
泌尿器科一般

メッセージ
地域の皆様のお役に立てるよう、精一
杯頑張ります。
よろしく願いいたします。

糖尿病・代謝内科



おおつき さおり
大槻沙央里

出身大学
福島県立医科大学
令和4年卒

専門とするもの
糖尿病・内分泌代謝

メッセージ
4月から糖尿病・代謝内科に着任しま
した大槻沙央里と申します。郡山市出身
で福島県立医科大学を卒業しました。
福島市の医療に貢献できるよう精進し
てまいります。
どうぞよろしく願いいたします。

耳鼻咽喉科



さの かずひろ
佐野 和太

出身大学
福島県立医科大学
令和4年卒

専門とするもの
耳鼻咽喉科

メッセージ
福島の皆様のお役に立てるように頑張
りますので、よろしく願い致します。

整形外科



はっとり よしたか
服部 芳隆

出身大学
福島県立医科大学
令和4年卒

専門とするもの
整形一般

メッセージ
皆さまの痛みや不安に寄り添い、安心
して治療が受けられるよう努めます。気
になる症状があればお気軽にご相談くだ
さい。

脳神経外科



たもがみち さえ
田母神千沙江

出身大学
福島県立医科大学
令和4年卒

専門とするもの
脳神経外科

メッセージ
脳卒中の治療や予防をはじめとして、
地域の皆様のお力になれますよう日々精
進して参ります。どうぞよろしく願い
いたします。

リウマチ・膠原病内科



にぶ ひろき
二武 弘樹

出身大学
福島県立医科大学
令和5年卒

専門とするもの
リウマチ・膠原病

メッセージ
誠心誠意治療にあたります。皆様どう
ぞよろしく願いいたします。



臨床研修医紹介



あいかわ ゆきや
相川優紀也

出身大学

福島県立医科大学

メッセージ

今年度より初期研修医としてお世話になります、相川優紀也と申します。若輩者ですが、福島市の医療に少しでも貢献できるよう努めて参ります。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



いとう けんと
伊東 憲翔

出身大学

福島県立医科大学

メッセージ

今年度より初期臨床研修医としてお世話になります、伊東憲翔と申します。福島赤十字病院にて地元の福島の医療に携われることを嬉しく感じると同時に、医師として働く責任を強く感じております。精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



かつみ ゆうた
勝見 勇太

出身大学

福島県立医科大学

メッセージ

今年度より臨床研修医としてお世話になります。福島の医療に貢献できるよう全力投球で頑張ります。至らない点もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。



くわな りょうじ
桑名 稜

出身大学

福島県立医科大学

メッセージ

今年度より初期研修医としてお世話になります。地元福島の医療に貢献できる機会を頂けたことに喜びを感じるとともに、身が引き締まる思いです。一層社会に貢献できる人材となれるよう、日々精進してまいります。何卒よろしくお願ひいたします。



せんざき さち
先崎 佐知

出身大学

福島県立医科大学

メッセージ

今年度より初期研修医として福島赤十字病院で勤務させていただけることを、大変嬉しく思っております。未熟者ではありますが、多くのことを学び、吸収できるよう、精進して参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。



たはら まこ
田原 愛子

出身大学

福島県立医科大学

メッセージ

4月から臨床研修医として勤務させていただくことになりました、田原愛子と申します。医師としての第一歩を日赤で踏み出せることを大変光栄に思っております。まだ学ぶことばかりの身ではございますが、少しでも地域の皆様に貢献できるよう精進いたします。精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



むらまつ りょうま
村松 良真

出身大学

福島県立医科大学

メッセージ

大学の6年間を過ごした福島に貢献できるように頑張っております。よろしくお願ひいたします。



わたなべ ひさと
渡邊 寿人

出身大学

福島県立医科大学

メッセージ

福島赤十字病院で初期研修を行えることを大変嬉しく思います。まだまだ未熟ではありますが、日々研鑽を積み先生方や患者さんから学びながら、福島の医療に貢献できるよう精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

福島市消防本部と病院の共同実習を行いました！

1月27日、福島市消防本部と福島赤十字病院合同の『看護師消防業務実習』を行いました。

福島市の救急需要は年々増加しており、令和5年度の当院で受け入れた救急車による搬送患者数は4,138名に上ります。救急需要を支えるには、患者の一次対応を行う消防と、患者を受け入れて診断・治療を行う病院の緊密な連携が不可欠です。

今回の実習は、救急搬送の過程を看護師が直接体験し、一層の連携強化を図ることを目的として行われました。今回のような消防と市内病院が共同で行う実習は、福島市消防本部としては初の取り組みです。

実習には外来勤務の看護師が参加し、福島市消防本部の設備と通信指令システムを見学したほか、実際に出勤要請があった救急車に同乗する実習を行いました。

消防も病院も、救急医療の要として「救急患者の命を救う」という使命を担っています。

今後も、消防と病院の連携を深めていき、良質な救急医療を地域に提供し続けることができるよう、尽力してまいります。



救急車内の医療機器についての説明



出勤要請を受けて救急車で出勤

災害救護活動記録

3 / 1

令和6年度 院内災害訓練

当院は福島県の『地域災害拠点病院』に指定されており、災害時に地域の傷病者を受け入れる使命があります。

災害時に迅速かつ的確に対応できる体制の確立や、災害対策マニュアルの検証などを目的として、院内災害訓練を実施しております。

本訓練には病院職員90名が参加したほか、傷病者役として福島看護専門学校 학생さんにも協力いただきました。

今回は「平日の日中に東北地域を震源とするマグニチュード7.5、震度6強の地震が発生し、市内で多数の傷病者が発生した」という想定で、2部構成で実施しました。

－第1部－ 災害対策本部の設置と各部署の情報伝達訓練

発災後の災害対策本部の設置と各部署への指示、各部署から本部への被害状況と職員の安否情報の報告を行いました。

－第2部－ 地域から搬送される傷病者の受け入れ訓練

救護エリアの設営、トリアージ（傷病者の重症度・緊急度に応じて治療の優先度を定めること）、電子カルテや傷病者リストへの記録などを行いました。

災害時に地域の皆さまの安心と健康を守ることができるよう、引き続き訓練の実施や体制の整備に努めてまいります。



院内の被害状況のリスト化



傷病者受け入れエリアの設営



傷病者の二次トリアージ

奥羽大学 薬学部との包括連携協定調印式を行いました

3月14日、当院は奥羽大学薬学部と包括連携協定を締結し、調印式を行いました。
この協定は、同大学薬学部生の実習の受け入れや、大学・病院間の情報共有などを促進することで、より良い地域医療につなげるための取り組みです。

調印式には、奥羽大学の押尾茂薬学部長、高野真澄教授、当院からは鈴木恭一院長、大和田尊之副院長、渡部寿康薬剤部長が参加しました。

良質な医療を安定的に提供するためには、それを支える医療人材の育成が不可欠です。今後も人材育成のための取り組みを進めてまいります。



協定書へのサイン



記念写真

(左から高野教授、押尾薬学部長、鈴木院長、大和田副院長、渡部薬剤部長)



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

～日本赤十字社福島県支部より～

「認知症サポーター養成講座」を受講してみませんか？ 「健康生活支援講習 支援員養成講習」

長く健康的に暮らしていくための知識や方法、増加の一途を辿る認知症の方との関わり方を学ぶことは、昨今の高齢化社会において大変役立ちます。

日本赤十字社福島県支部では「認知症サポーター養成講座」と「健康生活支援講習 支援員養成講習」を開講しています。

地域や家庭で高齢者を支えるための知識と技術を学び、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指しませんか？ご関心のある方は、ぜひお申し込みください。



認知症サポーター養成講座

	開催日 ※各回同じ内容
①	2025年7/14(月)
②	9/26(金)
③	11/4(火)
④	12/13(土)
⑤	2026年3/13(金)

13:30～15:00

◎対象者：満15歳以上の方

◎受講費：無料 ◎定員：各20名

健康生活支援講習 支援員養成講習
+ 認知症サポーター養成講座

	開催日 ※各回同じ内容
①	2025年7/24(木)～7/25(金)
②	9/1(月)～9/2(火)
③	12/1(月)～12/2(火)
④	2026年1/29(木)～1/30(金)

合格者には支援員認定証を差し上げます！

9:30～16:30

◎対象者：満15歳以上の方

◎受講費：900円 ◎定員：各15名

詳細は
日本赤十字社
福島県支部
ホームページへ

会場

日本赤十字社福島県支部 3階大会議室（福島市永井川字北原田17）

申込方法

お電話・FAX または 日本赤十字社福島県支部ホームページからお申し込みください。
TEL.024-545-7996 FAX.024-545-7923 〈お問合せ対応時間〉平日9:00～17:30



福島赤十字病院 登録医師・医療機関のご紹介

*医療連携にご協力いただいている医療機関を順次ご紹介いたします。

ふくしま木もれ日クリニック

■院長 川井 巧 先生

～川井先生からのメッセージ～



ふくしま
木もれ日
クリニック

Fukushima Komorebi Clinic

瀬上町の内科・小児科クリニックです。院長は総合診療専門医、

小児科専門医の資格を持ち、看護師（プライマリ・ケア連合学会認定看護師を含む）はもちろん、保健師、助産師、事務スタッフみんなで患者さまをサポートします。

クリニック2階には助産所も併設し、産後ケアも実施しております。

福島赤十字病院様と連携し、小児・成人問わず、地域の皆様に適切な医療を提供できるよう、努力して参ります。



クリニック
ホームページ▶



《診療科》

内科・小児科

《住所》

〒960-0101

福島市瀬上町字行人堂13-1

《電話》

024-563-1860

《休診日》

水曜午後・土曜午後・日曜

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
内科・小児科 ※最終受付時間 午前12:30 午後17:30	9:00~13:00	○	○	○	○	○	○	×
	15:00~18:00	○	○	×	○	○	×	×
ゆりかご助産院 ※完全予約制	9:30~16:30	○	○	○	○	○	×	×

やご内科リウマチクリニック

■院長 八子 徹 先生

～八子先生からのメッセージ～



当院は関節リウマチと膠原病の患者様の専門のクリニックとして日々診療にあたっております。ホームページにも記載していますが、あくまでリウマチ膠原病“内科”としての視点から、スタッフ一同、常に新たな診断技術や治療の取得に積極的に取り組んでおります。関節リウマチは血液検査(リウマトイド因子や抗CCP抗体)陰性の場合、診断が非常に難しくなることもあります。また膠原病は皮疹や発熱など多彩な症状を呈するため、一度の診察だけでは診断に辿り着かない場合も少なくありません。

先生方におかれましては、関節痛のみならず、皮疹や微熱などの症状がある場合、また検査結果は陰性でも膠原病が疑われる場合にはどうぞお気軽に御紹介頂ければと存じます。

リウマチ膠原病性疾患は多臓器にわたり炎症を起こすため、福島赤十字病院の先生方および職員の方と密に連携を行わせて頂き、患者様に安全で適切な医療を届けていけるよう努力して参ります。また安定した患者様の逆紹介も積極的に受け付けておりますので当院を御活用下さい。今後とも何卒宜しく御願ひ申し上げます。



クリニック
ホームページ▶



《診療科》

一般内科・リウマチ科・
膠原病内科

《住所》

〒960-8003

福島市森合字屋敷下36-2

《電話》

024-558-8585

《休診日》

月曜日・火曜日午後・木曜日・
土曜日午後・日曜日・祝祭日

《診療時間》

平日 9:00~11:30
14:00~17:30
土曜日 9:00~13:00

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~11:30	×	○	○	×	○	○	×
14:00~17:30	×	×	○	×	○	×	×

特集 2

健診コースと オプション検査のご案内

〈健診コースと主要検査項目〉

検査項目	検査内容	ドック	生活習慣病予防健診	健診 A	健診 B
診 察	診察・問診	●	●	●	●
身 体 測 定	身長・体重・血圧	●	●	●	●
眼 科 検 査	腹囲	●	●	●	●
	視力	●	●	●	●
聴 力 検 査	眼圧・無散瞳眼底写真	●			
	聴力（オーディオ）	●	●	●	●
心 機 能 検 査	心電図	●	●	●	
呼 吸 機 能 検 査	肺活量など	●			
レントゲン検査	胸部レントゲン	●	●	●	●
超 音 波 検 査	腹部超音波検査	●			
上 部 消 化 管 検 査	胃検査（透視またはカメラ）	●	●		
尿 検 査	尿検査	●	●	●	●
便 検 査	便検査	●	●		
血 液 検 査	項目は健診の種類によって異なります。 詳しくはHPをご覧ください 健診センターまでお問い合わせ下さい。	●	●	●	

- 日帰り人間ドック：41,250円（税込）
- 生活習慣病予防健診：26,400円（税込）
- 健康診断 A：13,200円（税込）
- 健康診断 B：7,700円（税込）

そのほか、多数のオプション検査も
ございます。詳しくは下記二次元コードより
健診センターHPをご確認下さい。



※料金は変更となる場合があります。

※胃検査で“カメラ”選択の場合は差額料金+3,300円(税込)となります。

〈令和7年度新規追加・内容変更オプション〉

	料金（税込）	検査概要
新 エラストグラフィ	2,200円	【腹部超音波検査】 肝臓への脂肪の付き具合や硬さを検査し、 肝硬変のリスクを調べます
新 NT-proBNP	1,650円	【血液検査】心臓の働きを調べます
新 アレルギー検査	15,950円	【血液検査】 39項目のアレルギー物質への反応を調べます
変 膵臓関連検査	9,350円	【血液検査】腫瘍マーカー等で膵臓の悪性疾患等の有無を調べます

脂肪肝の疑いがある方、肝硬変の家族歴がある方にお薦め

心疾患の既往がある方、心疾患の家族歴がある方にお薦め

申込み／
お問い合わせ

健診センター（024-534-6101※代表）
※予約受付：月～金 10時～16時



◀健診センターの
ページはこちら

発行
編集

福島市八島町七番七号
千九六〇―八五三〇

福島赤十字病院
☎（024）534-6101

印刷
陽光社印刷株